

済生会三条病院だより

あんしん

昔風
西

No. 60
2017. 10-12
(H29)

目次

- | | |
|-----|---|
| 2・3 | (特集) 地域への貢献: 未来の医療人を育てるために
小学生限定 手術室 見学・体験/ 高校生の病院見学・体験会 |
| 4 | 世界糖尿病デーイベントを開催します |
| 5 | インフルエンザ予防接種のご案内
福祉・介護・健康フェア 開催のご案内 |
| 6 | ケアホーム三条だより(踊って夏祭り、花火大会鑑賞) |
| 7 | 季節の彩り「秋 さんまで本格イタリアン ♪」
附属保育園 たんぽぽ日記「みんなみんな夏まつり♪」 |
| 8 | 外来診療担当表 |



青空へ ● 撮影 服部 健氏



特集 地域への貢献：未来の医療人を育てるために

1【小学生限定】夏休み 手術室見学・

当院では「将来命を救う医師になりたい!」「医療に携わりたい!病院で働きたい!」という医療を支える人材を育てることを目的に、7月29日(土)に小学5・6年生の皆さんを対象とした『手術室見学・模擬体験ツアー』を行いました。

当日は地域の小学生14名が参加してくださいました。最初に郷院長が『今日の体験をきっかけに、将来地元で医療

の仕事に就いていただければありがたいです』と呼びかけ、須田外科医長がプログラムについてお話しをして、いよいよ手術室の見学・模擬体験が始まりました。

最初は手洗いです。実際に手術を行う時と同じに、ブラシで爪や肘まで入念に洗うことに驚いていた子どもたちも、手術衣・マスク・手袋を着用しいよいよ入室です。『テレビで見たのと同じだ!』などと興奮気味に話したり、スタッフの説明を興味深そうに聞きながら、持参のカメラで写真を撮っていました。

その後は2班に分かれ実際の機器を使った模擬手術体験です。担当スタッフが説明を行った後、超音波メス

2【医学部への進学を考えている高校生の病院見学・

8月1日、当院を会場に「医学部への進学を考えている高校生の病院見学・体験会」が行われました。この事業は三条保健所の主催によるもので、今年で2回目となります。三条高校並びに燕中等教育学校より、医学部への進学を考えている6名の方が参加されました。

当日は挨拶・オリエンテーションの後、手術室・放射線科・リハビリテーション科を廻っての見学及び体験と講義室で心肺蘇生法の講義・実技をしていただきました。

手術室では、最初に当院が県内で初めて導入した手術支援ロボット「ダ・ヴィンチサージカルシステム」について、その機能とどのような手術に用いられるのかなどの説明を受けていただきました。皆さん非常に興味深げにメモを取って聞いておられ



手術台で電気メスの模擬手術体験



心臓マッサージをしながらAEDを準備

模擬体験ツアーを行いました

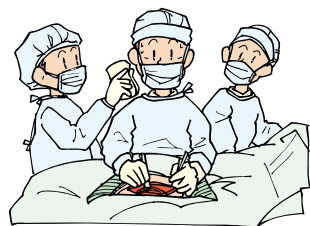
↑で食肉を切る模擬手術に挑戦、その次にモニターを見ながら腹腔鏡を操作する体験をしてもらいましたが、平面のモニターではなかなか興行きがつかみにくく、アームの操作に苦心していました。

終了後は、須田医師から一人一人修了証と記念写真を受取り、みんなでランチです。テーブルでは写真を見せ合いながら話をしたり、アンケートを書いたりして楽しそうに過ごしていました。

【みなさんの感想をご紹介します】

- * 医師やスタッフが一生懸命頑張っていることが分かった
 - * 体験を通して手術や手術を行う人たちに興味を持った
 - * 模擬手術体験では感覚がつかめなくて手が震えたが楽しかった
 - * 将来医療に関する仕事に就けたらいいと思った
- 等々のしっかりとした感想をいただきました。

定員の関係があり、希望された全ての方からお出でいただくことはできませんでしたが、私たちはこれからもこのような体験を通じ、子どもの頃から医療をもっと身近に感じていただく機会を作ってまいります。今後ともよろしくお願いたします。



超音波メスで模擬手術体験



腹腔鏡の操作、う〜ん難しい



修了証と記念写真、お疲れ様でした。

体験会が、 当院を会場に行われました

↑たのが印象的でした。その後は手洗いを行い、術衣・マスク・手袋を着用して入室、スタッフの説明を受けながら電気メスを使った模擬手術の体験です。予め用意しておいた食肉を使った体験でしたが、メスの感触を確かめるように慎重に行っていました。

そして、放射線科ではMRI・CT・X線TV・血管造影など当院で行っている検査の概要と放射線技師の業務について説明を受けた後、リハビリテーション科に移動し「呼吸リハビリ」を実際に行っていただきました。適度な抵抗があり且つ視覚的にも確認できる、おもちゃの吹き戻し(ピロピロ笛)を使ったトレーニングは初めてとあって、何回も感触を確かめていました。

また、心肺蘇生法では救急部長の丸山医師より救急蘇生について講義を受けた後、看護師からも指導を受けながら、心臓マッサージやAEDの取扱いについて真剣に取り組まれていました。



吹き戻しを使っでのトレーニング

見学終了後、郷院長の講話に続き、三条保健所及び当院の医師、看護師、地域医療支援センター長を交えて交流会を行いました。皆さん、様々な感想を述べておられましたが、その中で『こんなに詳しく説明をしてもらい、いろんな体験ができたことは初めてです。今まで漠然としていたものを具体的にイメージすることができ、医師になりたいと強く思いました。』といううれしい言葉をいただきました。

私たちは、高校生の皆さんから医療に関心を持っていただき、県央地域での人材確保につなげていける活動のお手伝いが出ればと考えております。

これからも地域医療のために活動を続けてまいりますので、よろしくお願いたします。

2017年 世界糖尿病デー

筋肉つけて 血糖値ダウン!!



◆ 11月14日は 世界糖尿病デー ◆

当院では、今年も11月14日(火)午前9時～午後4時の間、2階ギャラリーにおいて、各種イベントを行います。

- ・希望者の血糖値測定(無料 先着100名)
- ・糖尿病に関するお悩み相談 ・糖尿病に関連した展示・パンフレット配布
- ・なお、イベントに先駆け 11月8日(水)から糖尿病に関する情報の展示コーナーを2階ギャラリーに設けます。どうぞ、お出で下さい。

糖尿病は、今や世界の成人人口のおよそ8.8% (約4億1500万人) が抱える病気です。一般的に死に至る病気という認識は薄いようですが、実に年間500万人以上の人々が糖尿病の引き起こす合併症などが原因で死亡しています。

毎年11月14日の世界糖尿病デーは、糖尿病の脅威に対応するため世界160か国から10億人以上の人々が参加する世界有数の疾患啓発の日です。

青い丸をモチーフにしたシンボルマークの「ブルーサークル」は、活動の中心となる国連やどこまでも続く空を表す「ブルー」と団結を表す「輪」をデザインしたもので、「Unite for Diabetes」(糖尿病との闘いのため団結せよ) というキャッチフレーズとともに、世界中で糖尿病抑制に向けたキャンペーンを推進しています。

済生会の『無料低額診療事業』のご案内

当院では社会福祉法に基づき、医療費の軽減・減免を行っております。療養生活において、経済的な事情がございましたらお気軽に医療福祉相談室にお出で下さい。

